

1万人あたり6人が1千万元以上のお金持ち

日本ではお金持ちのことを「億万長者」と呼びますが、中国では「千万富翁」や「億万富翁」と呼びます。中国でお金持ちといえば、先ず頭に浮かぶのは山西省の炭鉱のオーナーたちですが、「2009年胡潤資産報告」（胡潤とは英国人 Rupert Hoogewerf 氏の中国語名で、彼が作成する資産報告は中国の企業家や富豪たちの資産に対する権威のある報告だといわれています）によると、中国人1万人あたり6人が、自ら起業した企業や所有する不動産の価値をあわせると資産が1千万元を超えるとされ、彼らは「千万富翁」と呼ばれています。

平均年齢は39歳!!

現在、中国の「千万富翁」の平均年齢は39歳といわれ、主に4つのタイプに分けられます。

- ① 商人：資産のほとんどが企業価値で、あまり多くの流動資金や株式は持ちませんが、人数的には多数を占め、浙江省の温州商人たちが例として挙げられます。
- ② 高収入者：大型企業集団や外資企業のトップたちからなる彼らは高い報酬に加え企業からのボーナスや利益配当により高収入を得ており、主に北京、上海などの経済発展の著しい地域に居住しています。
- ③ 不動産投資家：資金を貯めた後、主に不動産に投資した結果、過去数年間の不動産価格の高騰により、資産を増やした人々です。
- ④ 株式投資家：資金を貯めた後、株に投資し、高い利益を得た人々です。

特にここ数年は、非常に盛んだった不動産市場や株の投資により、高い利益を手にした人が多いようです。

1兆元を超える資産を持つ「億万富翁」も

「億万富翁」と呼ばれる資産が1兆元を超える人々の平均年齢は43歳だといわれています。主に自ら創業し、投資した企業から得た利益を更に不動産や株に再投資して利潤を得た人々です。この種の資産家は実力を備えており、1千万元以上の住宅や百万元以上の車に対する購買力を持ち、高級ブランド店やプライベートバンクの常連客となっています。



上海にはドイツ製高級車に乗る資産家も

中国の経済発展に伴い増える資産家

香港、台湾、マカオを除く中国31省・自治区・直轄市の中では、北京に14.3万人、次いで広東省に13.7万人、上海に11.6万人の「千万富翁」がおり、この3地域の資産家の合計は「千万富翁」の48%を占めています。しかし、最近、河南省や陝西省など中西部地域にも多くの「千万富翁」が現れ、中西部の潜在的な発展力が徐々に明らかになってきました。今後の発展を担うのは北京や上海ではなく、こういった地方の都市となるでしょう。

前述の報告によると、金融危機の影響下にも拘らず、上海ではいまだに1万人に62人にあたる11万6千人の資産が1千万元に達しています。改革開放を実施してから30年が経ち、今後の中国では、歴史と時代の好機に恵まれた「千万富翁」や「億万富翁」が、ますます増えてくることでしょう。

(2009年5月)